

武井 誠 活動報告

武井 誠 を励ます会

〒350-0253 埼玉県坂戸市北大塚 40

TEL 049-289-2527

<http://www.takei-makoto.org/>

E-mail takei@sakado-gr.org

1
2
号

- ◆「小さな声」で街を変えよう
- ◆3月議会、坂戸市2012年度予算
- ◆議員提出議案 議会基本条例成立
- ◆武井誠の一般質問（環境、教育行政）
- ◆無料法律相談・市民生活相談案内

小さな声が街を変える

2012年春号

◆プロフィール◆

- 1954年11月 東京都練馬区生まれ
- 1979年3月 東京大学教育学部教育学科卒
- 1979年4月 鶴ヶ島町立藤中学校に赴任
- 1988年7月 坂戸市に転居
- 2007年3月 鶴ヶ島市立富士見中学校を退職
- 2008年4月 埼玉県坂戸市議会議員（1期）

この間

埼玉教職員組合中央執行委員長
鶴ヶ島市教育審議会委員
連合埼玉執行委員
などを務める

市議会での現在の役職等

予算常任委員会委員 議会運営委員会委員
総務文教常任委員会副委員長
市議会だより編集委員会副委員長
議会改革推進委員会委員 衛生組合議員
入間教育フォーラム代表
社民党坂戸総支部代表

家族 妻と2人暮らし

子ども3人はすでに独立

趣味 ギター弾き語り 温泉旅行

ウォーキング（特に高麗川沿いを歩く）



大震災は、私たちの生き方、坂戸市の未来に対して、根本的な問いをつきつけています。最も大切なものは何か？ 私は迷わず「今こそ命を大切に政治を！」と訴えています。4年間の議員経験で、社会的弱者の「小さな声」で街を変える必要性を、ますます強く感じています。ぜひ私に仕事をさせてください。

- ・ 予算規模 259億8600万円
- ・ **こども医療費無償化が中学終了まで拡大**
- ・ 国民健康保険税均等割 1000円引き下げ、低所得者軽減割合拡大
- ・ 入西地域交流センター整備事業開始(2か年計画)
- ・ 食品用放射能測定器を新たに購入 ※詳細については右ページをご覧ください。
- ・ 小中学校普通教室エアコン整備のための基本調査開始
- ・ 店舗、住宅改修(リフォーム)助成事業開始
- ・ 県からの権限移譲により市役所でパスポート発行業務開始
- ・ 斎場整備調査研究委託料として1000万円
- ・ 人工透析予防対策事業を開始(131万5千円)
- ・ 防災行政ラジオ、ソーラー式夜間照明、災害用備蓄品整備
- ・ 小中一貫校整備事業(城山中学校の改修工事設計)
- ・ 若宮橋の架け替え工事にかかわる詳細設計を実施

私は、今こそ命を大切にすまらづくり、具体的には「モノからヒト」、福祉、教育、医療、防災対策に予算の重点を移していくべきである、と主張、要望してきました。

その観点からみて、来年度から、こども医療費が入通院とも中学卒業まで無償となること、不十分とはいえ国民健康保険税が1000円引き下げられたこと、また、私たちの要望に応じて、食品用放射能測定器が、環境学館「いずみ」に設置されることになったことなどは評価できるところです。

火葬場については、予算委員会で、今さら調査研究費1000万円を何に使うのかという議論になり、これを0円とする修正案が出されました。私は修正案にうなずける部分もあるが、静苑組合加入へのステップと考え、

修正案に反対し原案に賛成しました。

生活インフラの整備、老朽化した公共施設の計画的改修、進む高齢化への対応、震災・原発被害への対策、そして教育問題など、課題は山積しています。

ご意見をお寄せください。

北大塚地内の生活道路と側溝、水路整備工事がやっと始まりました。継続して事業が進むように、地域みなさんの声を代弁し、さらに頑張ります。



議員提出による坂戸市議会基本条例 可決

議会改革推進委員会を中心に取り組んできた坂戸市議会基本条例が可決、成立しました。議員提出による条例制定は、坂戸市議会史上初めてのことだそうです。

試行的に行われてきた議会報告会、議員による事業評価、議会一般質問の一問一答方式、議員間討議や、市長等の「反問権」を認めることなどが、条文として盛り込まれています。議論が分かれたのは、「議員の政治倫理については別に条例を定める」と

いう一行を加えるか否かという点でした。

私は「政治倫理条例の具体的内容については新メンバーに任せるとしても現議員による議論の到達点として、条例を作るところまでは、はっきりさせておくべきである」と判断し、提出者の一人に加わりました。

この条例を活かしていくのはこれからです。政策の最終決定と、市政の評価・監視という議会の機能を十分に発揮できるように、役立てていかねばなりません。

放射能に負けない坂戸市を

多くの市民、特に子育て中の保護者の要望に応じて、環境学館「いずみ」に、食品用放射能測定器が設置されることになりました。武井は、このことを評価しつつ、運営の仕方などについて提案型の質問をしました。また、市内の道路側溝の土砂、伐採樹木、枯葉、被災地の瓦礫引き受けの問題についても質問しました。執行部答弁の要点を報告します。

食品用放射能測定器の活用を

一問一答方式のやり取りの中で、ほぼ、私の提案に沿った形で以下の方針が、まとめられました。

- ・約半年後をめどに、運営体制を整えて、環境学館「いずみ」に設置する。
- ・当面は、食品に限って無料でおこなう。(検体は希望する市民が持ち込む)
- ・機械の検出限界は3.7ベクレルで、今年4月以降の新基準に対応できる。
- ・測定結果については測定された数値をそのまま伝え、評価は、依頼者本人が判断する。
- ・給食食材の測定委託をはじめとする、市他の放射線量測定事業は継続する。
- ・測定器の使用方法は、環境政策課職員が習得、専門的な知識を持ったボランティアもぜひお願いしたい。
- ・環境学館「いずみ」のPRも、広報誌などを通じて努めていきたい。

側溝の土砂、枯葉、伐採樹木について

・公共施設周辺、児童登校集合場所、市民要望で771か所を測定。1か所のみ地表50cmで毎時0.264 μ Svを確認、直ちに除染。

- ・除染した土砂はドラム缶に封じ込め道路課の資材置き場で管理。線量基準以下を確認。
- ・自治会等の側溝清掃時には事前に線量を測定し、基準値以下であることを確認。
- ・枯葉、伐採樹木についても同様。

被災地の瓦礫、受け入れはできない

・坂戸市は、焼却炉の処理能力が小さいために、現在まで県からの問い合わせはない。仮に問い合わせがあっても受け入れることはできない。

「基準値」についての考え方

・基準値を少しでも下回れば、安全ということではない。数値は低ければ低いほど安全という認識でのぞむ。



社民党坂戸総支部は、放射線量計を購入しました。機種は坂戸市役所のもので、ご希望の方には無料で測定に伺います。

子どもたちと先生の触れ合いを大切に

質問の中で、1日平均2時間を超える教職員の超過勤務、全国学力・学習状況調査の集計分析に、教育センター職員4人と学生ボランティアで2ヶ月もかかった実態が明らかになりました。また、今年度からは300万円の予算を費やし学力調査の採点・集計を業者に委託するとのこと。その労力、あるいは費用を、先生が児童生徒と触れ合う

時間確保のために使うべきではないか、と質問しました。

点数で測れるのは、学力の一部であり、測れないものの中にも大切なものがたくさんあること、教職員の勤務時間管理における管理職の責任、教職員のワークライフバランスは児童生徒のためにも重要であること、などについて確認することができました。

私の約束

◆子どもたちのいのちが輝くまちへ

- ①働きながら子育てのできる環境を整備します。
- ②放射能から子どもを守ります。
- ③一人ひとりの子どもを主人公にした教育をめざします。

◆みんなで育む地方自治・人権・平和

- ①いっそうの情報公開・情報共有で市民参加を推進します。
- ②議会基本条例を活用し、活発な議論のできる議会改革を推進します。
- ③すべての差別を根絶するために、人権教育を推進します。

◆安心して老いることのできるまちへ

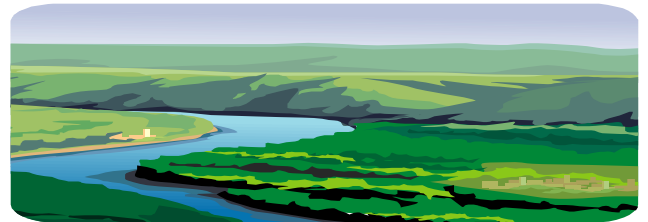
- ①地域包括支援センターを軸にきめ細やかな支援体制を作ります。
- ②高齢者支援の地域ネットワークの形成をめざします。
- ③高齢者が気軽に集まれる場づくりを支援します。

◆働きやすい暮らしやすいまちへ

- ①公契約条例を制定し、労働条件の底上げをはかり、市民サービスを向上させます。
- ②障害者権利条約を踏まえて、障がい者福祉を推進します。
- ③自治体財政を疲弊させる地方交付税交付金の削減に反対します。
- ④住環境の整備（生活道路、合併浄化槽普及など）をすすめます。

◆青い空、豊かな土、澄んだ水を未来へ

- ①放射能汚染状況の把握に努め、除染体制の確立で市民の命を守ります。
- ②「環境学館いずみ」を環境教育のセンターとして充実していきます。
- ③地産地消によって、消費者と生産者のネットワークづくりをすすめます。



無料法律相談・市民生活相談会 社民党市民相談センター

お気軽にご利用ください。お礼不要・プライバシーは厳守いたします。
原則として、1人30分の予約制です。緊急の場合には弁護士さんあてに紹介状を書きますので、弁護士事務所で無料法律相談を受けることができます。（ご予約・お問い合わせは 武井携帯 090-9854-5175）
次回相談日は2012年5月26日（土）13時から市民生活相談、15時から法律相談、会場は北坂戸駅東口前の「オルモ」です。

ホームページで、活動日記を毎日、更新しています。「武井誠」と入力し、**検索**をクリックしてください。ツイッターからも、ときどき発信しています。



放射能から子どもたちを守る会・入間北

放射能にかかわる、月1回の、交流、情報・意見交換の会を行っています。
放射能にかかわる、学習会、映画会、講演会などを主催、後援しています。
必要が生じた時は、行政に働きかける取り組みをしています。
多くのおみなさまの入会をお待ちしております。
<http://www.sakado-gr.org/mamoru-kai/>（会の名前で検索できます。）